

大雪山の素顔

だいせつざんのすがお

このコーナーでは、山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員など旭岳で活躍する人々をリレーして、季節とともに変化する旭岳の旬のお便りをお届けします。

高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」と言われる大雪山の素顔が見えてくることでしょう。



志別川とオプタテシケ山

小さな気づき

私が大雪山に関わるようになったのは、2年前の冬に友人に誘われて旭岳に滑りに来たのがきっかけだった。始めたばかりのスキーは転んでばかりで散々だったが、それでもたった数時間の滞在でこの山の麓で働く事を決めた。この時、北海道に来てまだ数カ月で大雪山の事は何も知らなかったが、計算ではなく感覚ですごいと感じた。

初めて触れた大雪山のふかふかの雪、高山帯の冷たく澄み切った空気、ゲレンデとは違う雄大な景色の中で滑る爽快感、ロープウェイに乗り込むスキーヤーやスノーボーダー達の嘘のない笑顔などが五感を刺激して、「大雪山の自然をもっと身近に感じたい」と思った。

そして今この町に住み、今も考える事より感じる事を大切にしている。感じる事から何かに気づき、忘れていた大事な事が見えてくるから。

疲れた時は頭も心も空っぽにして遠くから山を眺めていると、空っぽの身体に自然は強さと癒しのエネルギーを送ってくれる。自然からもらったパワーは「小さな事は忘れて明日も頑張ろう」という活力に変わる。そして冷たい川の流れる目を移し、山から数十年数百年かけて流れ着いた美味しい水を毎日口にできる事に感謝する。山に登らなくても存在を意識しなくても私たちは自然からの恩恵を受け、関わりを持って生きているという事に気づく。すべては自分に還ってくるという事にも.....。

何か自然に恩返しが出来るとしたら、それは自然からのメッセージを感じとり、何かに気づく事から始まるのではないだろうか？

「オプタテシケ山ってハートの形に見えるよね」「いやいやハート型のお尻だよ」

これも一つの気づき？ だと思う。

環境省東川自然保護官事務所

アクティブレンジャー 山下なつ絵

短歌

店で逢う人に黙礼されていて記憶おぼろに頭さげをり
積雪は豊の年の貢ぎとや卯月に入りて戻り雪降る

春なのに雀の囀り聞くを得ず禍事起きる前触れなるや

雪消えし庭にぼつこり福寿草かがやきありてわれを呼びおり

ふる里は遠くはなれて思ふもの湧き水染めしやちぶきの花

嫁ぎ来て五十七回の記念日を二人で迎え先祖に謝せり

早春の志別川のせせらぎは音やさしくて和らぎてある

待ち兼ねて小さく咲きし福寿草たまさかの陽にかけろう炎える

嬰兒に授乳する間も惜しみつつ農に励みし日ははるかなり

目覚むれば春らしき陽よ常よりも早く起床し散歩に出でる

寄れば早や山菜の話題にことかかぬ熟年主婦や山も笑いて

一生をあずけてみたいかもめですテトラポットに腰かけて見る
蹲くまる丸くまあるく蹲くまるどなたが鬼よ春のお笑ひ

俳句

鐘の音の余韻やわらく臯月かな

来し方に悔なく生きて臯月かな

ふるびたる椅子に五月の女あり

沈丁花雨中に香り友を訪う

集落の役おえまどろむ四月馬鹿

卯波立つ水平線を持ち上げて

春きたと山椒魚鳴く山の杜

細やかに見えわたりたる臯月かな

百姓の心に背く忘れ霜

晩霜を踏み下なる草を知る

遅霜や当たり外れの宝くじ

徳光吐苦
松山蓉子
秋山深雪
山口佐知子
杉山ひろのり
小林露葉
澤田久美子
青野公花
杉山つ花
石澤清宏
宮坂紫雲

那須喜美
瓜生昭枝
松倉和子
永江栄子
岩田ふじえ
岡澤チズ子
笹田富士子
矢沢ますえ
中田治子
清田チヨ子
嶋崎ミヨ子
宮坂敬文
井山一文